

野見山 おつしやるとおりで、定住だけではなく、二地域居住という新しい概念で、UターンやUターンの支援をすすめる自治体も増えていきます。ふるさとというものは、これからは選ぶ時代になります。出身地に帰るUターンとともに、ふるさとが選べるようなしくみが無理のない地方居住だと思えますね。公団は昭和30年代からまちをつくってきましてから、公

野見山 おつしやるとおりで、定住だけではなく、二地域居住という新しい概念で、UターンやUターンの支援をすすめる自治体も増えていきます。ふるさとというものは、これからは選ぶ時代になります。出身地に帰るUターンとともに、ふるさとが選べるようなしくみが無理のない地方居住だと思えますね。公団は昭和30年代からまちをつくってきましてから、公

戸沼 まちの景観と観光という話題ですが、ただ美しい景色を見て帰ってくるだけではつまらない、だれかとおしゃべりして、おいしいお酒や食べ物を楽しむ、そして知的に学ぶチャンスがあるとすれば、それは新しいワンランク上のツーリズムになります。定住というところに縛り付けられるという感じがあるので、地方居住、週末居住ぐらいの感覚がいいですよ。

ネクタイをはずして  
住民の中へ

浜 50代60代の方が知的な満足度が得られれば、生きていくのがぐんと楽しくなると思えますね。

戸沼 近い将来日本の人口が6千万人から7千万人に戻るといのは、自給率に見合う程度の人口になるということかも知れないですね。

戸沼 近い将来日本の人口が6千万人から7千万人に戻るといのは、自給率に見合う程度の人口になるということかも知れないですね。

野見山 今後のわれわれのまちづくりに際して、まちのコアをどう考えるのか、美しいまちづくりにはどうすればいいのか、われわれがどう関わられるのか、戸沼先生は日本住宅公団や地域公団の時代からお力添えいただいています。人口減少時代をどうとらえておられますか。

地域に果たす  
大学の役割とは

野見山 今後のわれわれのまちづくりに際して、まちのコアをどう考えるのか、美しいまちづくりにはどうすればいいのか、われわれがどう関わられるのか、戸沼先生は日本住宅公団や地域公団の時代からお力添えいただいています。人口減少時代をどうとらえておられますか。

戸沼 21世紀の人口減少社会を日本や、都市、農村がどう受けとめるか、不具合をいかになくすか、いま一番の課題です。子どもが少なくて高齢者の多い社会はともすれば安全も安心も破綻する危険があります。いまでも地方が産業誘致というところで工業団地をつくり、駅前におフイスビルをつくりたりした時期もあったのですが、一山過ぎて今、大学と地域の関係が注目されています。地域の人口を支えているのはやはり大学だと思つてます。大学は一定の人口を保つダムみたいな機能がある、山梨県都留市の公立都留

食アメニティ・コンテスト受賞グループ(一例)



青森県青森市 浪岡町生活改善グループ連絡協議会大豆部会  
大豆の生産・加工・販売「豆まめ工房」、「豆や」を運営  
(平成16年度優秀賞)



新潟県南魚沼市 (有)上田の郷  
伝統野菜「かぐらなばん」栽培や体験交流館「上田の郷」を運営  
(平成17年度優良賞)



兵庫県たつの市 室津漁業協同組合女性部  
直売所「魚魚市(とといち)」の運営とさまざまな加工品を販売  
(平成17年度優秀賞)



早稲田大学本庄キャンパス 上越新幹線本庄早稲田駅前

文科大学は、学生が30000人、市の人口が3万人です。から一割が学生で、いわゆる大学まちですね。明治以降の国の施策では、大学が地方を支えましたが、まちづくりとはあまり関係なかった。しかし今は行政と大学が一緒にまちづくりをするプロジェクトが多くあります。都留市でも「教育首都」を

の宿舎にしたらと考えたのですが、そのそばの古い集落や畦道を残した区画整理のあり方を示してくれたのが地域公団とその仕事を引き継いだUR都市機構のグループです。地方のまちづくりでは大学がやはりコアになります。東京でも大学が一時郊外に出ていきましたが、いまは都心に大学があることがまちの活性化につながるという認識になりました。新宿区でも早稲田と協定を結び、まちづくりに大学が参加しようとしています。大学というのはまちに育てられるのです。学生も新宿で飲んだり遊んだりして、まちに学んでいる、学生にとつて大学に籍を置くというのは口実で、アリバイづくりなんです(笑)。

野見山 おつしやるとおりで、定住だけではなく、二地域居住という新しい概念で、UターンやUターンの支援をすすめる自治体も増えていきます。ふるさとというものは、これからは選ぶ時代になります。出身地に帰るUターンとともに、ふるさとが選べるようなしくみが無理のない地方居住だと思えますね。公団は昭和30年代からまちをつくってきましてから、公

野見山 おつしやるとおりで、定住だけではなく、二地域居住という新しい概念で、UターンやUターンの支援をすすめる自治体も増えていきます。ふるさとというものは、これからは選ぶ時代になります。出身地に帰るUターンとともに、ふるさとが選べるようなしくみが無理のない地方居住だと思えますね。公団は昭和30年代からまちをつくってきましてから、公

戸沼 まちの景観と観光という話題ですが、ただ美しい景色を見て帰ってくるだけではつまらない、だれかとおしゃべりして、おいしいお酒や食べ物を楽しむ、そして知的に学ぶチャンスがあるとすれば、それは新しいワンランク上のツーリズムになります。定住というところに縛り付けられるという感じがあるので、地方居住、週末居住ぐらいの感覚がいいですよ。

ネクタイをはずして  
住民の中へ

浜 50代60代の方が知的な満足度が得られれば、生きていくのがぐんと楽しくなると思えますね。

戸沼 近い将来日本の人口が6千万人から7千万人に戻るといのは、自給率に見合う程度の人口になるということかも知れないですね。

戸沼 近い将来日本の人口が6千万人から7千万人に戻るといのは、自給率に見合う程度の人口になるということかも知れないですね。

野見山 今後のわれわれのまちづくりに際して、まちのコアをどう考えるのか、美しいまちづくりにはどうすればいいのか、われわれがどう関わられるのか、戸沼先生は日本住宅公団や地域公団の時代からお力添えいただいています。人口減少時代をどうとらえておられますか。

地域に果たす  
大学の役割とは

野見山 今後のわれわれのまちづくりに際して、まちのコアをどう考えるのか、美しいまちづくりにはどうすればいいのか、われわれがどう関わられるのか、戸沼先生は日本住宅公団や地域公団の時代からお力添えいただいています。人口減少時代をどうとらえておられますか。

戸沼 21世紀の人口減少社会を日本や、都市、農村がどう受けとめるか、不具合をいかになくすか、いま一番の課題です。子どもが少なくて高齢者の多い社会はともすれば安全も安心も破綻する危険があります。いまでも地方が産業誘致というところで工業団地をつくり、駅前におフイスビルをつくりたりした時期もあったのですが、一山過ぎて今、大学と地域の関係が注目されています。地域の人口を支えているのはやはり大学だと思つてます。大学は一定の人口を保つダムみたいな機能がある、山梨県都留市の公立都留

コーディネート事例



野見山 UR都市機構はまちづくりの専門家集団と想っています。そういった地方へコーディネーターとして入って、活動している例もあります。山形県山辺町の作谷沢地区は、「まんだらの里」という村おこしの取り組みで、浜さんのお話の農村アメニティ・コンスクールの表彰を受けました。実は、私どもの山形新都市とも近いのです。私も両地区を見て、日本の農村と都市は連続性があると実感しました。また、私どもの「都市再生大

野見山 UR都市機構はまちづくりの専門家集団と想っています。そういった地方へコーディネーターとして入って、活動している例もあります。山形県山辺町の作谷沢地区は、「まんだらの里」という村おこしの取り組みで、浜さんのお話の農村アメニティ・コンスクールの表彰を受けました。実は、私どもの山形新都市とも近いのです。私も両地区を見て、日本の農村と都市は連続性があると実感しました。また、私どもの「都市再生大

野見山 UR都市機構はまちづくりの専門家集団と想っています。そういった地方へコーディネーターとして入って、活動している例もあります。山形県山辺町の作谷沢地区は、「まんだらの里」という村おこしの取り組みで、浜さんのお話の農村アメニティ・コンスクールの表彰を受けました。実は、私どもの山形新都市とも近いのです。私も両地区を見て、日本の農村と都市は連続性があると実感しました。また、私どもの「都市再生大